

愛犬の写真をもっと上手に撮りたい！

早いもので今年も、X'masカードや年賀状を作成する時期になりましたが、来年は11年間待ちに待った戌年ですね。「ん？何の年でも犬の写真じゃん！」という飼い主さん、多いのではないのでしょうか？でも今年度の年賀状は堂堂と愛犬を登場させて良いのです。

そこで今回は、上手に写真を撮るヒントをご紹介します。

まず、動きのない写真に挑戦してみましょう

日常のさりげない愛犬の行動や仕草ほど、心を和ませてくれるものはありません。なあ〜んにもしていない普段の愛犬やグッスリ寝入っている愛犬の姿を、いろんな方向や角度、距離から撮影してみましょう。

結局はそんな写真が、表情豊かで、後々一番、愛犬の成長記録を伝えてくれるものです。

基本の動作を覚えておきましょう

わんちゃんだけの、ここぞと言う記念写真を撮りたい場合はやっぱり「おすわり」と「待て」は必要かも。

特に「待て」は、写真を撮るほんの少しの間でいいので、普段から練習しておく役立ちます。もちろん撮影する方も、完璧に準備させて撮ろうなどとは考えないこと。

少しでもわんちゃんを待たせないために、何でもいから撮り続けていると、中には完璧な一枚があったりします。出来あがってみると、そんな一枚より、失敗作のほうがとってもかわいいということも(^_-)-☆

上級さんのわんちゃんには、さらに視線をこちらに向ける「見て」も教えてみて下さい。

動きのある写真に挑戦

遊んでいた、走っていた、スポーツをしていた……と、やっぱり自然に動いている写真は、生き活きとしていいものです。プロのカメラマンのような機材もテクニックもない私たち飼い主は、とにかくたくさんシャッターを切ることに

これに尽きます。



Wishing You A Merry Christmas



Happy New Year!



Jump Jump Jump!

また、狙った場所に愛犬が来るのを撮る場合、デジタルカメラなら先にシャッターを半押しにしてチャンスを待ちましょう。

そうしないと自分がシャッターを切ったタイミングより、実際に写真が撮られるタイミングが遅れ、既に画面はもぬけの殻……なあってこと、ありませんか？

さあ、たくさん写真を撮って、愛犬をモデルにした「最高の年賀状を作ってみましょう。(^^) /

「愛犬家住宅住まいづくり」のご相談先



愛犬家住宅
住まいづくり倶楽部